



谷口 和弥 議員
(無党派)

問

平成27年5月に飯田町長が町長に就任してから、7年7カ月が過ぎようとしている。3代に渡りちょうど40年間、幕別町役場職員出身の町長に町政のかじ取りを託してきたこととなる。

平成31年4月の町長選挙において町長は「子どもたちの未来のためにみんなで創る 新時代幕別」をメインスローガンに掲げて、自らの「政治姿勢」や「町政推進の基本スタンス」を示すとともに「活気に満ちた産業のまちづくり」「安心・安全なまちづくり」「暮らしを支えるまちづくり」「元氣な教育・文化・スポーツのまちづくり」といった4つの大きな柱とした公約を立て2回目の当選を果たされた。任期は残り5カ月余りとなった。町長が選挙公約に掲げた政策の達成状況をどのようにとらえているかお伺いする。

また、町長が次期においても引き続き町政を担う意思をお持ちなのか所信をお伺いする。

問 選挙公約の達成状況と今後の町政運営については

答 公約はおおむね達成できたと考えている。今後も不断の努力を続ける

町長

令和元年5月「子どもたちの未来のために みんなで創る 新時代幕別」を政策のスローガンに掲げ、多くの町民の皆さんから温かいご支持をいただき、町政のかじ取りを担わせていただくことになった。

公約に掲げた4つの分野について、

(1) 「活気に満ちた産業のまちづくり」では、農業分野では、光回線による高速情報通信基盤を町内全域に整備、経営承継・発展支援事業の実施、商工業分野では、工業団地への企業誘致、電子地域通貨の導入する事業に対し、地域おこし協力隊による人的支援および導入費用に対する支援を行った。

(2) 「暮らしを支えるまちづくり」では、マイホーム応援事業において、子育て世代や幕別・忠類地区への定住促進の重点化、保育における質と量の拡充に向け札内青葉保育園建て替えに支援、フレイル予防事業の拡充、引きこもり状態にある本人自立促進並びに家族等

の福祉の増進を図った。

(3) 「安心・安全なまちづくり」では、防災行政無線の整備および自主防災組織の設立、運営支援など地域と連携した防災体制の強化に努めた。

行財政の確立として「使用料・手数料の見直しに関する基本方針」に基づき、公共施設使用料の改定を行った。

(4) 「元氣な教育・文化・スポーツのまちづくり」では、教育環境の整備、魅力ある高校づくり支援事業の拡充、スポーツ推進計画を策定し各種事業の実施、アイヌ施策推進地域計画を策定し、今年度から多機能型交流施設の新設や文化講座、展示会開催など各種事業を実施した。

町民の皆さんにお示しした公約については、おおむね達成できたものと考えている。

先人の皆さんが築いてこられた幕別町を、次世代にしっかりとつなげていく役割を果たすべく決意を固め、連合後援会の出馬要請をお

受けした。私の持てる力の限りを尽くし、今後ともたゆむことなく挑戦を続け、幕別町が「住んでみたい」「住み続けたい」「住んでよかった」と思ってもらえる町として発展し続けられるよう、不断の努力を続けてまいれる決意である。

問 今後の「幕別町史」の編さん・発行について

答 一定の節目に発行するのがふさわしい

問

幕別町が約6年半の歳月をかけて編集した「幕別町百年史」が平成8年10月に発行された。本年は猿別市街に幕別外六か村戸長役場が設置されてから125年、昨年は町制施行から75年、「幕別町百年史」発行から四半世紀という区切りを過ぎた。

については今後の「幕別町史」の編さん・発行についてどのように考えているかお伺いする。

町長

費用や発行の間隔、資料の保存状況の向上や収集の容易さ等を考慮し、一定の節目の年に発行することがふさわしいと考える。資料の収集、保存については、電子媒体等により、場所を取らず大量のデータを保存することが可能であり、引き続き関連資料の収集、保存に努める。